

極楽寺だより

長門市三隅下
野波瀬
0837(43)0625

秋の永代経法要のご案内

次のお通りおつとめいたしますので、お誘いあわせの上、お参り下さいますようお願いいたします。

日時 十一月十二日 (水)

昼一時半 夜七時半

十一月十三日 (木)

昼一時半

講師 福岡 飯塚市 正円寺住職

高石 双樹 師

◇昼間仕事の方は、ぜひ夜にお参り下さい。

えいたいきようほうよう
永代経法要とは

「いつまでも(永代)お念仏の

み教え(お経)が伝えられます

ように」と願い(仏徳讃嘆)、

またご門徒のご先祖が、志を納

めてお寺を護りお念仏を喜ば

れたことを感謝して(祖恩

報謝)お勤めする法要です。

ですから、「その心を大切に

受け継ぐ」ということは、「さ

そいあって法を聞き、如来さま

のご恩をよろこぶ」ということ

であります。



今後の行事予定

- 12月18日(木)14時 仏婦報恩講
- 12月31日(水)11時45分 除夜の鐘撞き
- 1月1日(木)10時 元旦会
- 1月14日~16日 御正忌報恩講



かえ 帰ろう 人間の事実 若住職

藤澤量正という方が、「人は自分が認められていると思

われたとき、その言葉を素直に受け取ることができですが、その存在が無視されたとき、思いがけない行動に走るのは、少年であろうと、分別ある大人であろうと全く変わることはありません。人間社会において、人に認められるということが、強く生きる基本になっていると言ってもよいでしょう」と仰っておられます。

本当にそうだと思います。猜疑のまなざし、人扱いされないようなまなざしで見つめられるのは、とても耐えられるものではありません。逆に、どんなに厳しい環境であったとしても、人として認められているという実感があれば、耐える力やヤル気、心の温もりも生まれるのではないかと思うのです。

先日、テレビの人気タレントであり、

弁護士でもある知事さんが、職員の仕事

ぶりをビデオカメラで隠し撮りをしたそ

うです。彼は、財政再建のために多くの施設を廃止する方針

を打ち出していますが、隠し撮りをしたのはそのうちの一つ

の施設。いかに職員が仕事をしていないのかをビデオで

撮影し、廃止への追い風にしようとしたようです。インター

ネットを見ると、「いつもどおり仕事をしていれば、何の問題

もないでしょ。こんなことで騒ぐのは、やましいことがある

証拠でしょ。」などという書き込みも数多く見られます。

でも、実際に仕事ぶりを隠し撮りされたら、どんな思いに

なるでしょうか。四六時中気を張り詰めながら生きていく

ことなんて、余程の人しかできません。時には体調がすぐ

れない場合だってあります。あくびの一つも出るでしょう。

もしそこに、猜疑のまなざしが向けられているとしたら……。

僕なんかはかえってビクビクしてしまい、逆に失敗を重ね



てしまいそうです。

つまり、隠し撮りカメラの向こうにあるまなざしには、人間が本来持っているはずの愚かさや弱さというものが抜け落ちていくのです。人間を単なる道具や機械のようにしか見ていない。そして、そのまなざしに共感する人が多くいるということは、それが当たり前のような世の中になっているということなのでしょう。これは、本当に怖ろしいことです。だからこそ、「大らかさ」や「ゆとり」、「思いやり」などという言葉が、死語になりつつあるのかもしれない。彼らは、そんなまなざしを向けられている人間が、どんな思いになるかなどということを想像することもないのでしょうか。「いつ隠し撮りされるかわからない」という歪んだ緊張感は、上司への媚を売るような働き方は生み出すかもしれません。しかしそんな歪んだ緊張感から、住民への温かなサービスが生み出されるとは、とても思えないのです。

親鸞聖人は、「帰」という言葉をよく使われています。「雑行を捨てて、本願に帰す」「真実明に帰命せよ」など。この「帰」という言葉は、人間の事実^{じじつ}に立ち帰ろうということなのです。阿弥陀如来の教えを通して、人間という存在のまことなる有り様に立ち帰ろう。人間という存在の愚かさ、弱さ、悲しさ、切なさを含めた、事実^{じじつ}に帰ろう。その事実^{じじつ}に根ざしているからこそ、親鸞聖人のまなざしは温かく深いのでしう。そして聖人のまなざしが、多くの人の生きる力を生み出してきた歴史もあるので



その知事さんの下で働く職員数は、約八万六千人だそうです。その人たちはこれから、「いつ隠し撮りをされるかわからない」という猜疑心の中で仕事をしなくてはならなくなりました。これは、精神的にかなりしんどいことだと思えます。

ただ今、準備中!!

親鸞聖人750回大遠忌法要

極楽寺第23世住職継職法要

2009(平成21)年5月4日・5日

いよいよ、当山の宗祖七五〇回大遠忌法要並びに住職継職法要勤修まで、残り約半年となりました。現在、少しずつではありますが、準備をすすめております。皆様、ご協力よろしくお願いいたします。

また、この法要ではお稚児さんを募集します。先日ある方と話してましたら、「ぜひ、孫を出します。これで、私を含めて三代、稚児に出ることになります。」と言われました。このように思い出として続いていくことは、本当にうれしいことだと思えます。都会

のお孫さんも、ご親戚の子どもさんも、どうぞ、ご参加下さい。

詳細は、改めてご案内いたします。



謝々

プルトップ回収ご協力についての御礼



いつも、プルトップ回収にご協力いただき、まことにありがとうございます。今回は4.24kg(約8,480個)集まりました。プルトップの収益金は、県内各福祉施設の車椅子購入のために寄付されます。これからもご協力よろしく申し上げます。